

# 平成28年度予算の概要



公立大学法人奈良県立医科大学



## 奈良県立医科大学の理念

(平成6年3月8日制定、最終改正：平成17年12月13日)

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

## 奈良県立医科大学の目的

(平成6年3月8日制定、最終改正：平成17年12月13日)

- 1 学部教育では、医学および看護学に関する基本的知識・技能および生命倫理・医の倫理を習得させるとともに、将来、臨床・研究・教育のいずれの分野でも活躍できる独創性・応用力と豊かな人間性を身につけた人材を育成する。
- 2 研究面では、医学、看護学およびこれらに関連する独創的・先端的研究を学際的・国際的に推進することを主眼とし、大学院では、研究・教育・臨床のいずれの領域においても指導者となり得る人材の育成を図るとともに各専門分野の高度の研究を推進する。
- 3 附属病院は、生涯に亘る臨床教育・研修の場であると同時に、奈良県のみならず我が国における指導的役割を果たす医療機関として、新しい社会的要請に対応できる体制を確立するとともに、先進的・高度医療を担う。

# 目次

平成28年度予算のあらまし	
1. 平成28年度予算の規模	1
2. 収入予算の概要	2
3. 支出予算の概要	3
4. 主な収入・支出の推移	4
5. 平成28年度部門別予算(大学)	6
6. 平成28年度部門別予算(病院)	7
平成28年度組織の整備	8
平成28年度予算の主要事業・新規事業	10
平成28年度予算編成方針	11
医大の将来像策定について	12
平成28年度予算の内容	
Ⅰ 地域貢献予算の概要	
第2期中期計画 Ⅰ 地域貢献	15
＜教育関連＞ 平成28年度 年度計画	16
関連予算	17
＜研究関連＞ 平成28年度 年度計画	18
関連予算	19
＜診療関連＞ 平成28年度 年度計画	20
関連予算	21
Ⅱ 教育予算の概要	
第2期中期計画 Ⅱ 教育	22
平成28年度 年度計画	22
関連予算	23
Ⅲ 研究予算の概要	
第2期中期計画 Ⅲ 研究	24
平成28年度 年度計画	25
関連予算	26
Ⅳ 診療予算の概要	
第2期中期計画 Ⅳ 診療	27
平成28年度 年度計画	28
関連予算	29
Ⅴ まちづくり予算の概要	
第2期中期計画 Ⅴ まちづくり	30
平成28年度 年度計画	31
関連予算	32
Ⅵ 法人運営予算の概要	
第2期中期計画 Ⅵ 法人運営	33
平成28年度 年度計画	34
関連予算	35

# 平成28年度予算のあらまし

## 1. 平成28年度予算の規模

**平成28年度予算 484億7,430万円**

【前年度比 +2億 860万円 +0.4%】

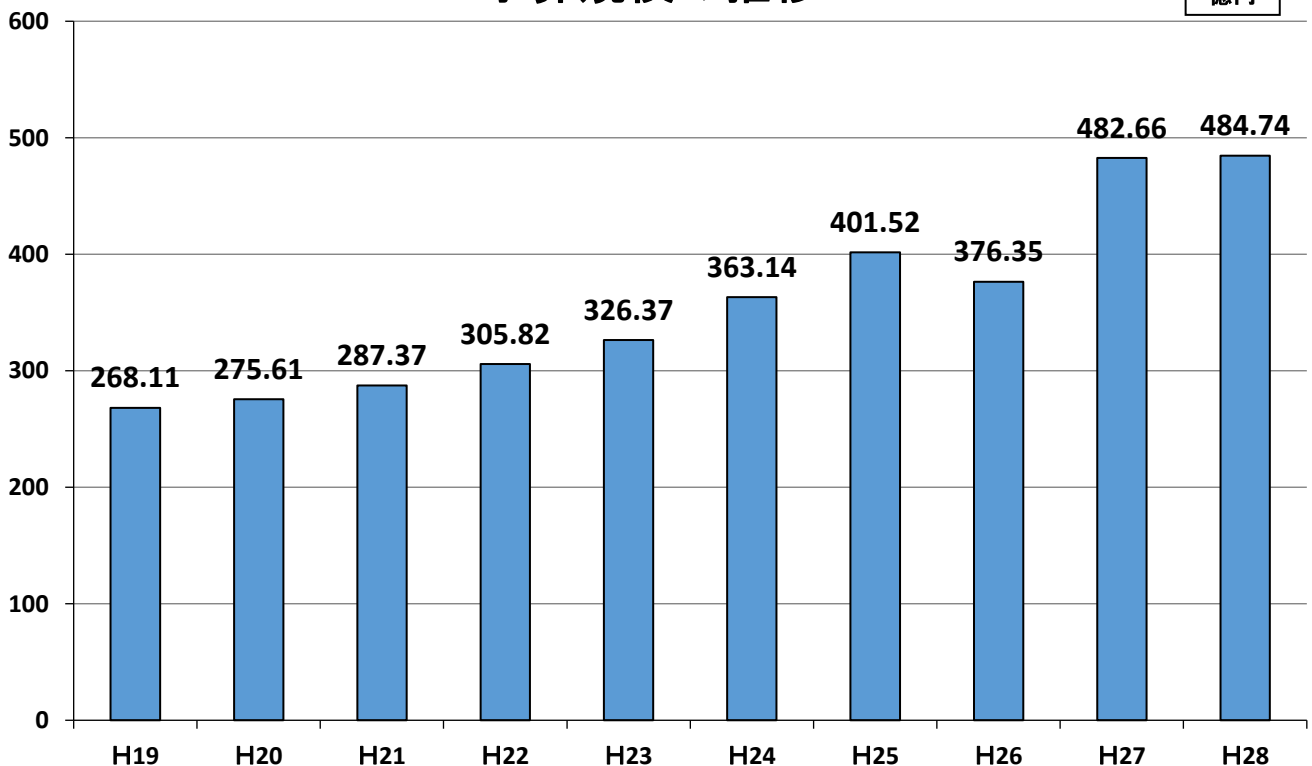
(※27年度予算 482億6,570万円)

### 予算規模の増減要因

- ・病院収入の伸びとそれに連動した医薬品費、診療材料費の増
- ・看護職員の確保、医療技術職員の増員、診療助教・医員の増員などによる人件費の増
- ・E病棟整備の第2期工事竣工による建設費の減  
(但し、工期延長により、建設費の一部と医療機器購入費は再計上)

### 予算規模の推移

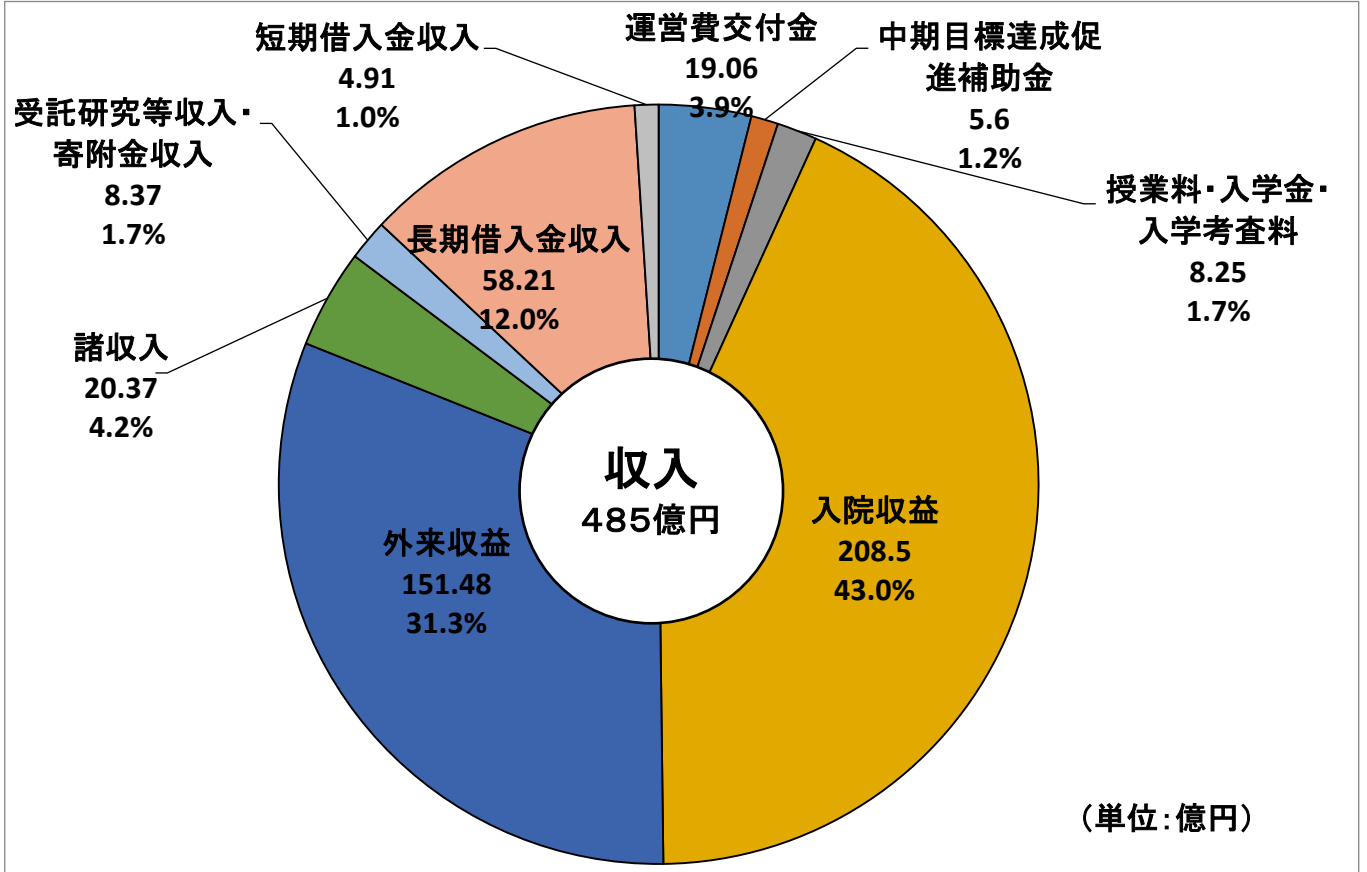
億円



## 2. 収入予算の概要

(千円)

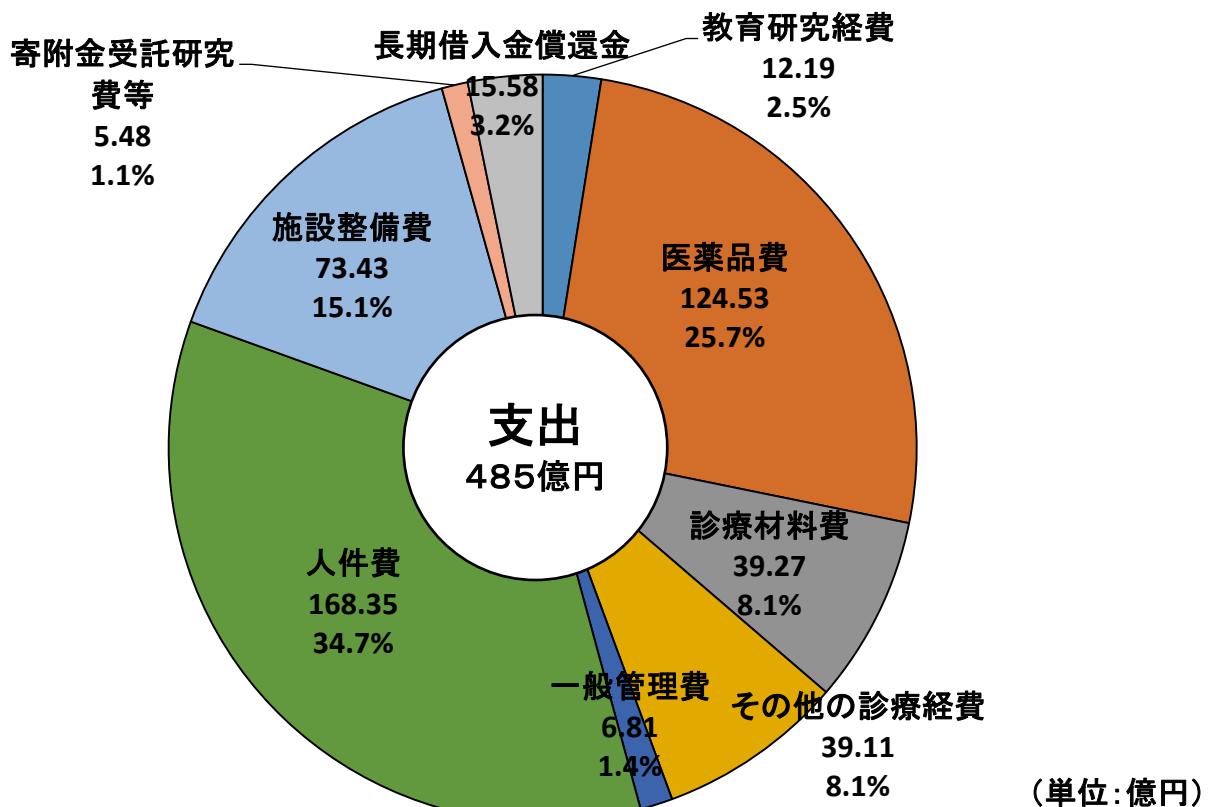
区 分	28予算		27予算		28-27	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
運営費交付金	1,905,900	(3.9%)	1,975,700	(4.1%)	△ 69,800	(△3.5%)
中期目標達成促進補助金	560,400	(1.2%)	483,000	(1.0%)	77,400	(16.0%)
自己収入	38,859,500	(80.2%)	36,355,400	(75.3%)	2,504,100	(6.9%)
授業料・入学金・入学審査料	824,800	(1.7%)	794,600	(1.6%)	30,200	(3.8%)
入院収益	20,850,000	(43.0%)	20,270,000	(42.0%)	580,000	(2.9%)
外来収益	15,148,000	(31.3%)	12,875,000	(26.7%)	2,273,000	(17.7%)
諸収入	2,036,700	(4.2%)	2,415,800	(5.0%)	△ 379,100	(△15.7%)
受託研究等収入・寄附金収入	836,700	(1.7%)	1,137,900	(2.4%)	△ 301,200	(△26.5%)
長期借入金収入	5,820,800	(12.0%)	8,313,700	(17.2%)	△ 2,492,900	(△30.0%)
短期借入金収入	491,000	(1.0%)	0	(0.0%)	491,000	(皆増)
合計	48,474,300		48,265,700		208,600	(0.4%)



### 3. 支出予算の概要

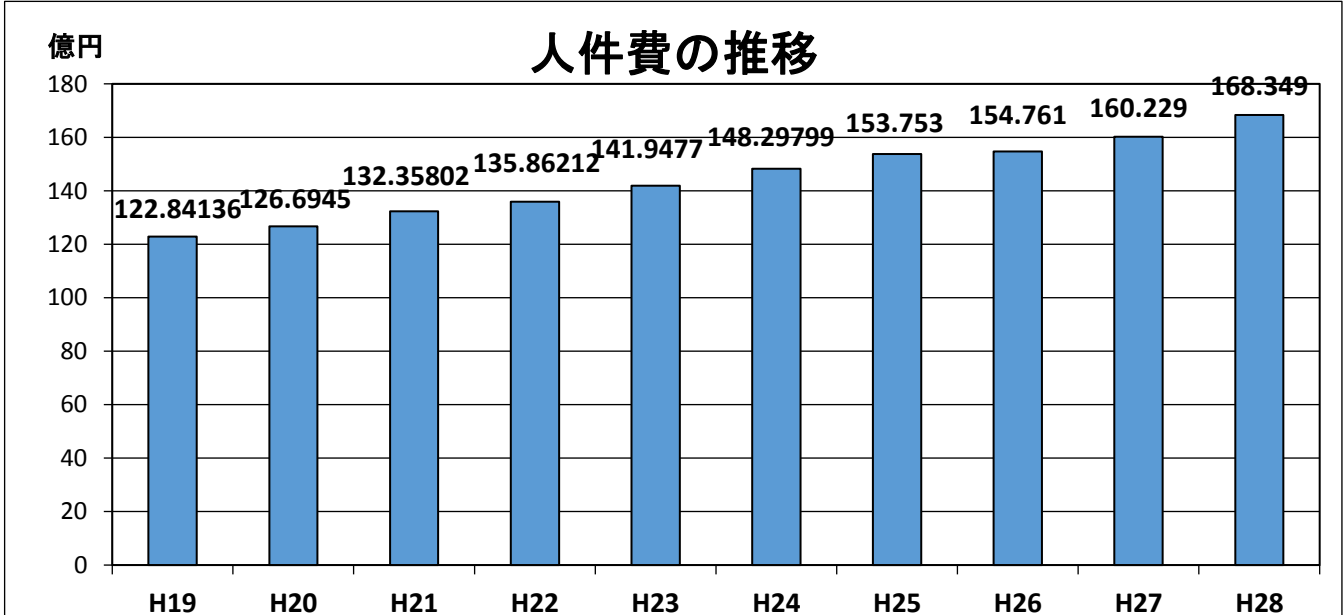
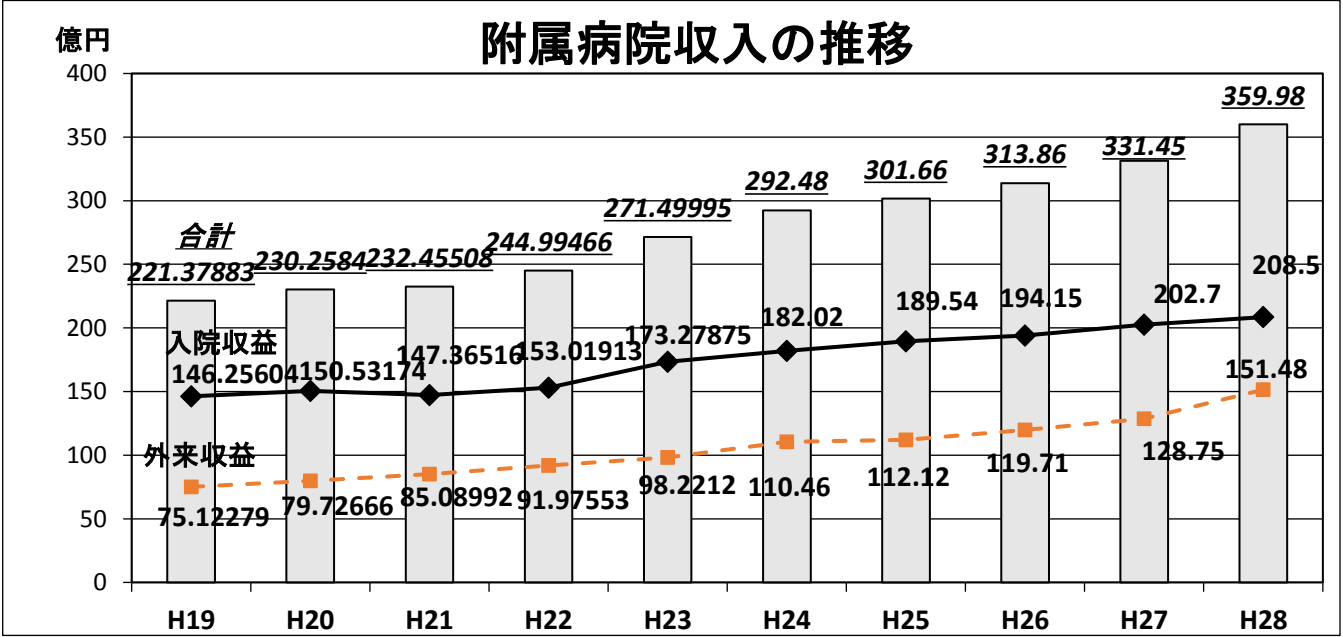
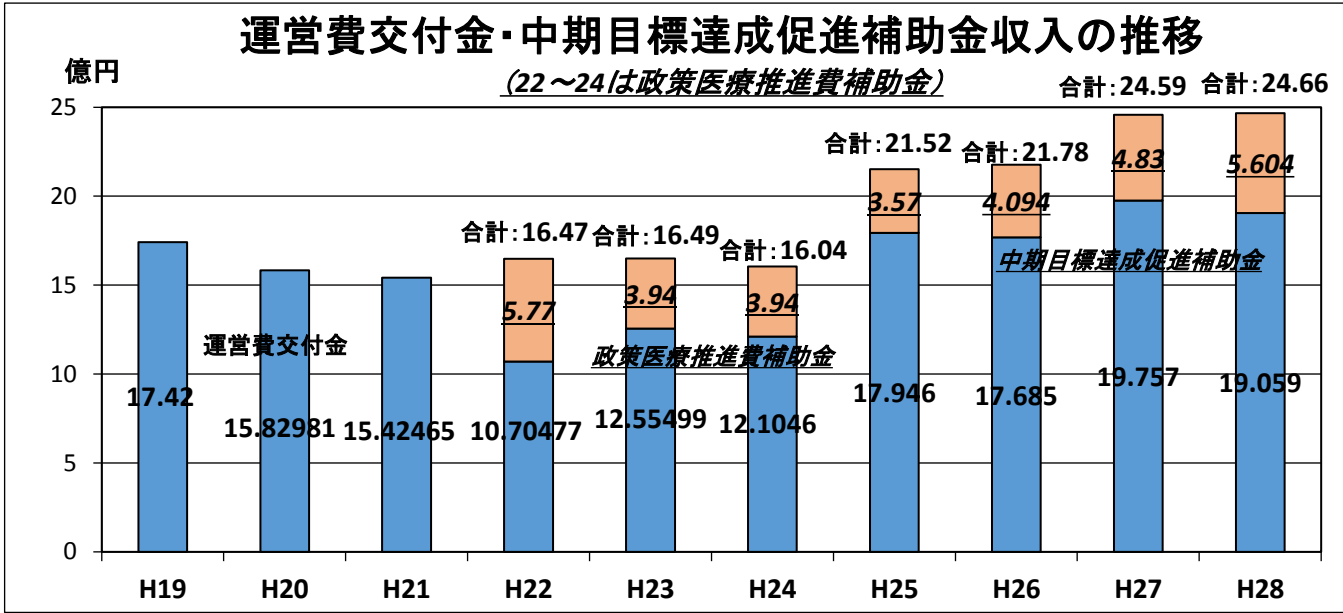
(千円)

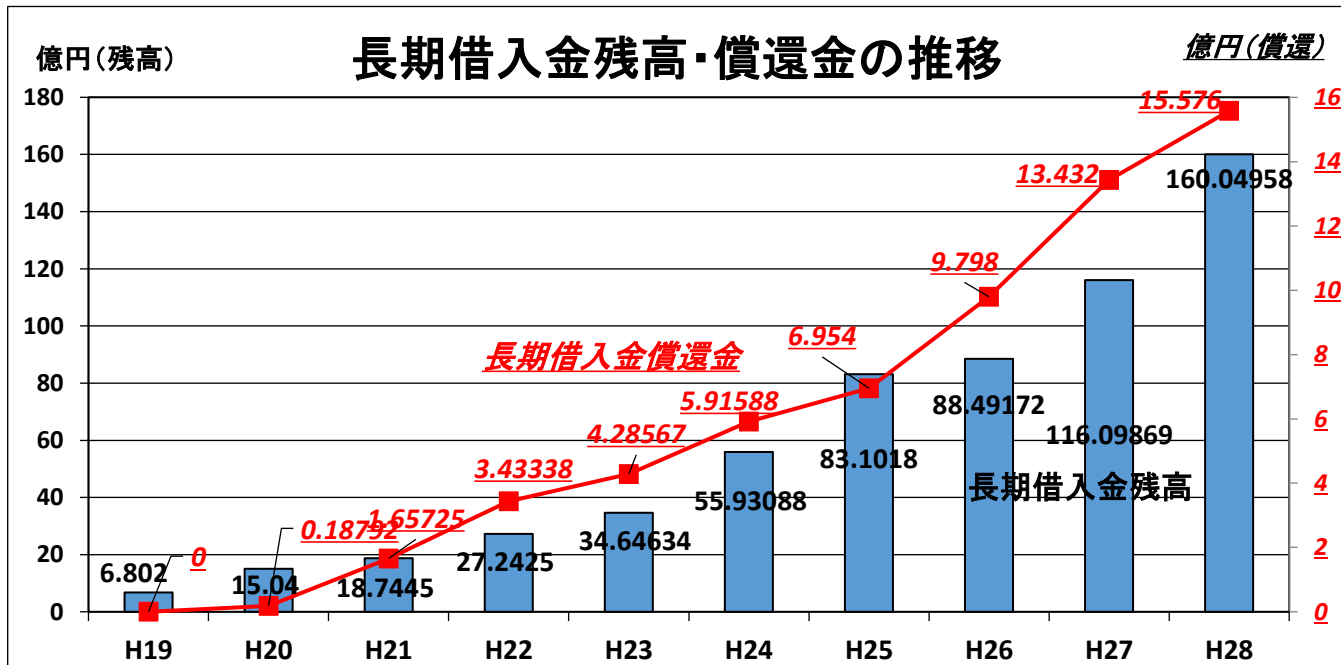
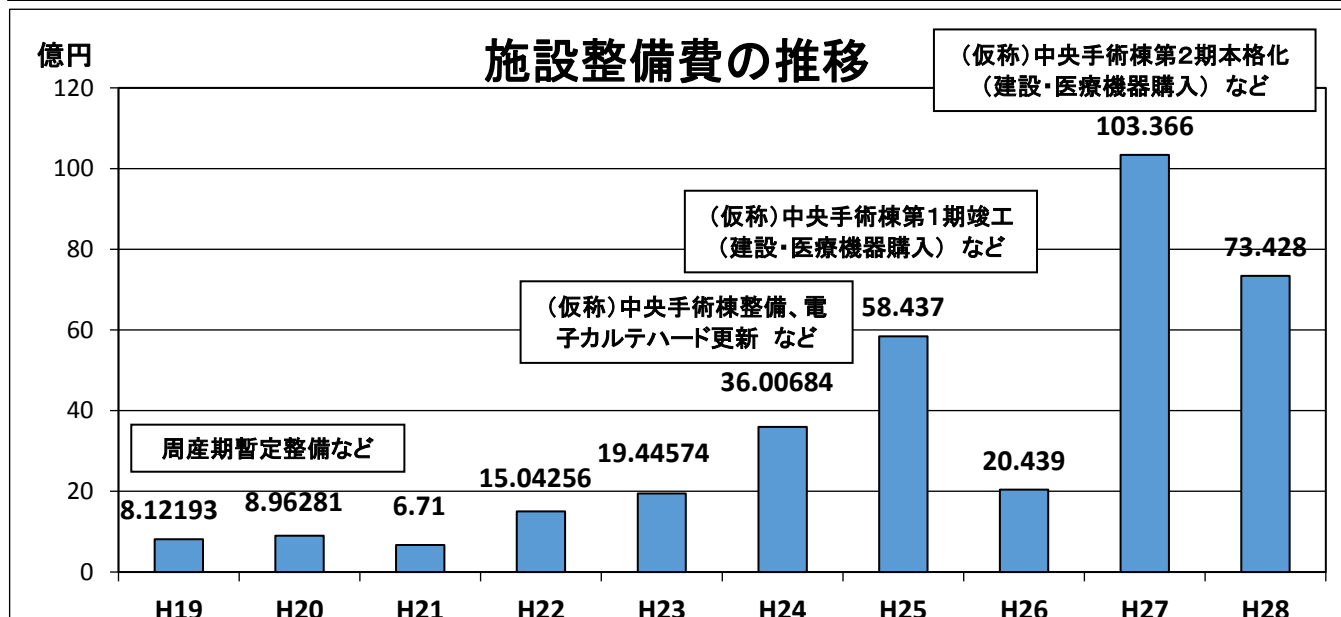
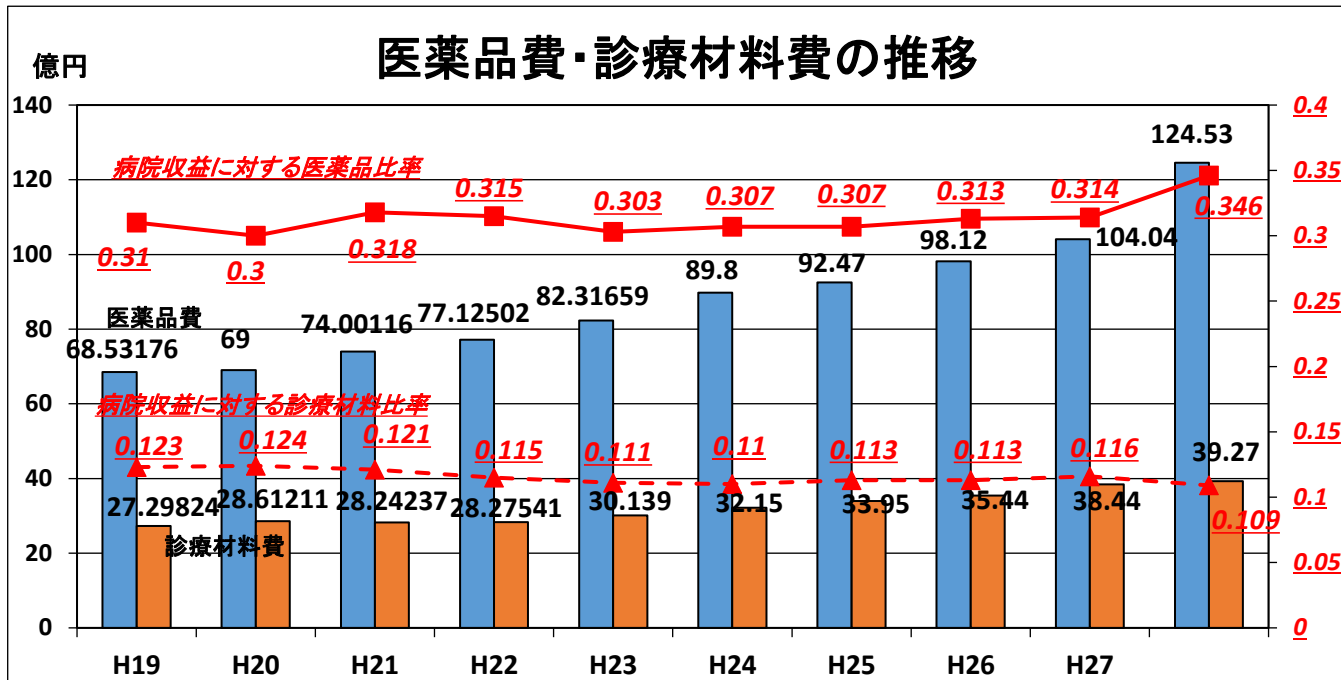
区分	28予算		27予算		28-27	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
教育研究経費	1,219,100	(2.5%)	1,101,100	(2.3%)	118,000	(10.7%)
教育経費	345,400	(0.7%)	264,400	(0.5%)	81,000	(30.6%)
研究経費	747,300	(1.5%)	714,300	(1.5%)	33,000	(4.6%)
教育研究支援経費	126,400	(0.3%)	122,400	(0.3%)	4,000	(3.3%)
診療経費	20,291,400	(41.9%)	18,007,600	(37.3%)	2,283,800	(12.7%)
医薬品費	12,453,000	(25.7%)	10,404,000	(21.5%)	2,049,000	(19.7%)
診療材料費	3,927,000	(8.1%)	3,844,000	(8.0%)	83,000	(2.2%)
その他の経費	3,911,400	(8.1%)	3,759,600	(7.8%)	151,800	(4.0%)
一般管理費	680,600	(1.4%)	677,500	(1.4%)	3,100	(0.5%)
人件費	16,834,900	(34.7%)	16,022,900	(33.2%)	812,000	(5.1%)
施設整備費	7,342,800	(15.2%)	10,336,600	(21.4%)	△ 2,993,800	(△29.0%)
寄附金受託研究費等	547,900	(1.1%)	776,800	(1.6%)	△ 228,900	(△29.5%)
長期借入金償還金	1,557,600	(3.2%)	1,343,200	(2.8%)	214,400	(16.0%)
支出合計	48,474,300		48,265,700		208,600	(0.4%)





# 4. 主な収入・支出の推移







## 5. 平成28年度部門別予算（大学）

（収入）

（千円）

区 分	28予算 A	27予算 B	28-27 A-B
運営費交付金	1,719,800	1,767,700	△ 47,900
中期目標達成促進補助金	326,000	234,700	91,300
自己収入	1,393,700	1,214,100	179,600
授業料・入学金・入学審査料	824,800	794,600	30,200
授業料	668,700	634,400	34,300
検定料収入	32,500	39,900	△ 7,400
入学金	123,600	120,300	3,300
諸収入	568,900	419,500	149,400
補助金収入	284,800	181,500	103,300
手数料等収入	10,400	10,600	△ 200
財産貸付料	400	800	△ 400
医科学研究生、専修生、研究生等受講料	17,300	16,600	700
科学研究費（間接経費）	75,300	77,400	△ 2,100
基金繰入金	27,500	0	27,500
その他	153,200	132,600	20,600
受託研究等収入・寄附金収入	686,100	980,300	△ 294,200
寄附金収入	464,900	820,500	△ 355,600
受託研究等収入	221,200	159,800	61,400
収入合計	4,125,600	4,196,800	△ 71,200

（支出）

区 分	28予算 A	27予算 B	28-27 A-B
教育経費 計	345,400	264,400	81,000
学生教育関係費	169,600	115,700	53,900
学生支援関係費	11,900	11,200	700
教育管理費	66,800	64,900	1,900
系統解剖関係費	6,000	6,000	0
入試関係費	28,900	26,700	2,200
奨学費	62,200	39,900	22,300
研究経費 計	747,300	714,300	33,000
教育研究関係費	132,800	117,500	15,300
教員研究関係費	309,600	285,500	24,100
総合研究施設運営関係費	97,300	96,600	700
研究管理費	185,000	191,400	△ 6,400
科学研究費補助金（間接経費）	22,600	23,300	△ 700
教育研究支援経費 計	126,400	122,400	4,000
附属図書館運営費・管理費	95,900	92,000	3,900
その他教育研究支援経費	30,500	30,400	100
一般管理費	457,900	451,000	6,900
教育関係人件費	2,044,200	1,868,400	175,800
一般管理人件費	1,008,300	879,100	129,200
施設整備経費	211,900	246,900	△ 35,000
寄附金受託研究費等	408,200	678,900	△ 270,700
支出合計	5,349,600	5,225,400	124,200

収支差	△ 1,224,000	△ 1,028,600	△ 195,400
-----	-------------	-------------	-----------

## 6. 平成28年度部門別予算（病院）

（収入）

（千円）

区 分	28予算 A	27予算 B	28-27 A-B
運営費交付金	186,100	208,000	△ 21,900
中期目標達成促進補助金	234,400	248,300	△ 13,900
自己収入	37,465,800	35,141,300	2,324,500
附属病院収入	35,998,000	33,145,000	2,853,000
入院収入	20,850,000	20,270,000	580,000
外来収入	15,148,000	12,875,000	2,273,000
諸収入	1,467,800	1,996,300	△ 528,500
附属病院医業外収入	205,600	175,700	29,900
補助金収入	1,110,200	1,705,200	△ 595,000
財産貸付料	17,700	17,500	200
その他	134,300	97,900	36,400
受託研究等収入・寄附金収入	150,600	157,600	△ 7,000
寄附金収入	3,000	3,000	0
受託研究等収入	147,600	154,600	△ 7,000
長期借入金収入	5,820,800	8,313,700	△ 2,492,900
医療用機器整備	716,800	794,000	△ 77,200
E病棟整備(建築費)	1,190,500	3,859,800	△ 2,669,300
E病棟整備(医療機器整備)	3,000,000	3,350,000	△ 350,000
アメニティ向上整備	50,000	50,000	0
E病棟関連アメニティ	51,400	53,900	△ 2,500
その他の整備	812,100	206,000	606,100
収入合計	43,857,700	44,068,900	△ 211,200

（支出）

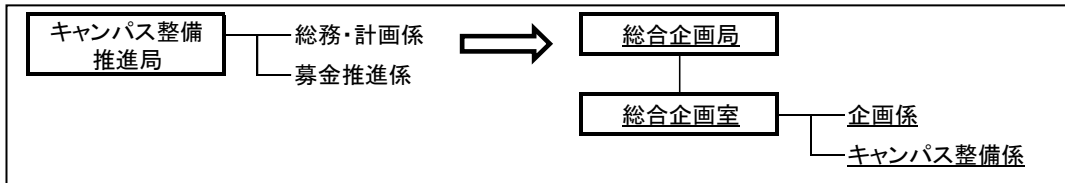
区 分	28予算 A	27予算 B	28-27 A-B
診療経費計	20,291,400	18,007,600	2,283,800
医薬品費	12,453,000	10,404,000	2,049,000
診療材料費	3,927,000	3,844,000	83,000
その他病院運営費	2,496,600	2,395,500	101,100
病院管理費(光熱水費・庁舎管理)	1,031,700	1,009,800	21,900
その他病院管理費	96,500	96,500	0
総合医療情報システム運営経費	252,800	249,000	3,800
指導経費	33,800	8,800	25,000
一般管理費	222,700	226,500	△ 3,800
診療関係人件費	13,782,400	13,275,400	507,000
施設整備経費	7,130,900	10,089,700	△ 2,958,800
寄附金受託研究費等	139,700	97,900	41,800
長期借入金償還金	1,557,600	1,343,200	214,400
支出合計	43,124,700	43,040,300	84,400
収支差	733,000	1,028,600	△ 295,600

# 平成28年度組織の整備

## 組織の変更

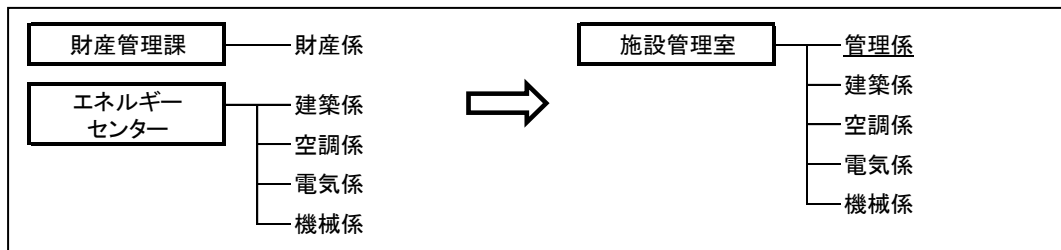
### 1. 総合企画局（キャンパス整備推進局から名称変更）の充実

- 教育・研究機能の移転及び病院再整備にかかる施設整備基本構想の推進
- 法人全体の企画部門の設置
- キャンパス整備及び医大周辺まちづくり推進に向けた県との連携



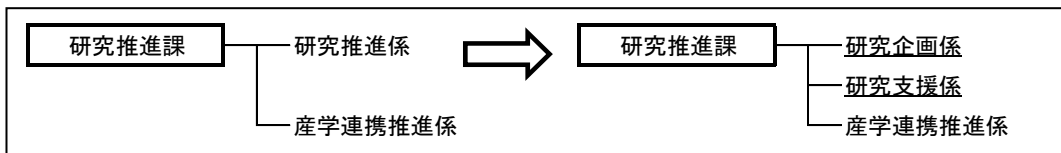
### 2. 施設管理室の設置（財産管理課及びエネルギーセンターを統合し名称変更）

- 財産管理課の所管する、キャンパス移転に関する用務を総合企画局へ移管
- 財産管理課、エネルギーセンターを統合し、施設管理の役割を集約



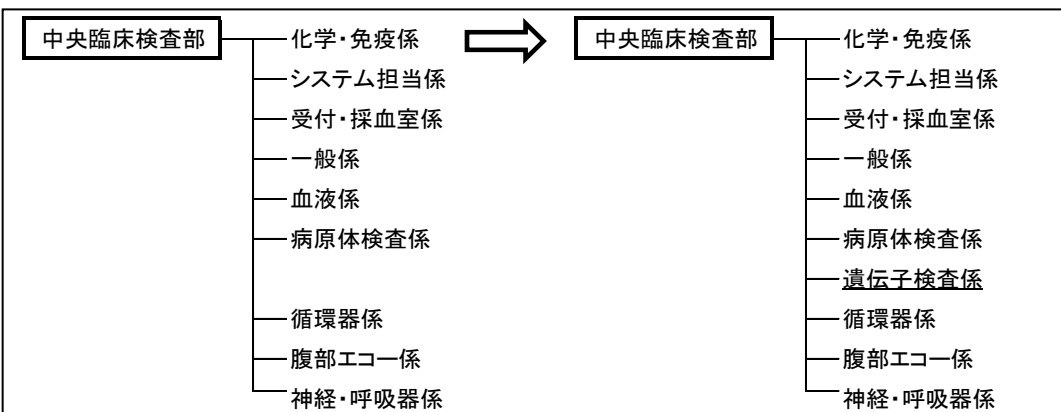
### 3. 研究推進課の係再編

- 研究企画の推進および科研費を含めた競争的資金の採択推進支援の強化



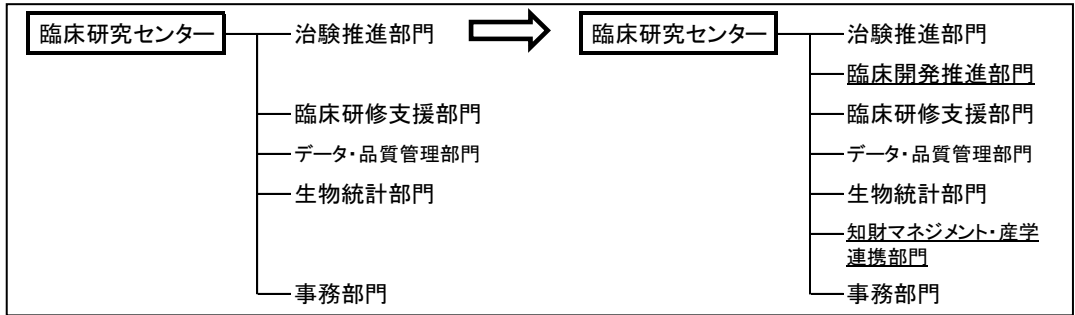
### 4. 中央臨床検査部の組織再編

- 患者の早期診断、迅速な治療効果判定のため、遺伝子検査係を新設



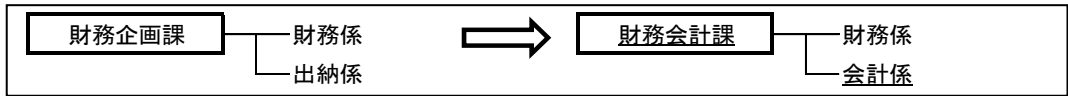
### 5. 臨床研究センター体制整備

- 臨床研究中核病院を目指した体制整備
- 質の高い臨床研究を行えるよう支援体制の強化



### 6. 課・係の名称変更

- 財務企画課 → 財務会計課
- 財務企画課出納係 → 財務会計課 会計係



# ◆平成28年度予算の主要事業・新規事業

## 地域貢献

- 県立医大医師派遣センターの運営
- 県費奨学生配置センターの運営  
【予算額】 22,200千円（県補助金等）(㉗)19,700千円  
医師配置の一元的な運営体制のさらなる整備、県費奨学生の地域配置などの支援
- 看護実践・キャリア支援センターの運営  
【予算額】 23,400千円（県補助金等）(㉗)14,800千円  
看護学科卒業生の県内定着の促進及び学生・看護師のキャリア支援
- 新 在宅医療看護人材育成支援奨学金  
【予算額】 6,000千円（県補助金）(㉗) - 千円  
県内における在宅看護を牽引するリーダーを育成するため、一定の要件を満たす者に対し奨学金を貸与
- 大和漢方医学薬学センターの運営  
【予算額】 23,000千円（県補助金）(㉗) 10,800千円  
漢方医学の教育、研究、診療を行うセンターの運営
- 県民健康増進支援センター運営費  
【予算額】 18,800千円（県補助金）(㉗) 18,800千円  
市町村や県の健康増進事業に協力するとともに、予防医学や健康づくりの適切な情報や研究成果を提供
- 土日ERの運用  
【予算額】 46,400千円（県補助金）(㉗)34,000千円  
「断らない救急医療」実現のため、後方支援病院との連携を図り、引き続き土日ERを運用（従事医師にER手当等を支給）

## まちづくり

- 奈良医大MBT構想の推進  
一般社団法人MBTコンソーシアムに参画し、橿原市や会員企業等と連携してMBTに関する諸事業を実施
- 将来像策定事業  
【予算額】 6,300千円（県補助金）(㉗)3,900千円  
「医大の目指すべき将来像」について広く内外に周知を図る  
⑳将来像の中間取りまとめについて、学内パブリックコメントを実施し、法人構成員との情報交換・意見共有を図る。  
㉑将来像のうち残る「まちづくり」等について最終とりまとめを行う
- 新 A棟改修事業  
【予算額】 78,900千円（長期借入金）(㉗) - 千円  
臨床医学研究棟の仮移転先としてA棟改修を実施(㉒基本・実施設計)

## 教育・研究

- 「奈良県立医科大学教育改革2015」の推進  
【予算額】 42,300千円（県補助金）(㉗) 3,500千円
- ◆「良き医療人育成プログラム」の具体化  
㉒医療安全学・実践的医療倫理など12科目新設による非常勤講師の確保  
㉓臨床手技実習・病院体験実習の早期実施に伴う教材ツールの整備
- ◆カリキュラム・シラバスの外部評価制度の運用  
㉒外部評価委員会の開催経費
- ◆医・看共通教養教育科目の新設・再編  
㉒科目の新設・再編に必要な非常勤講師の確保
- ◆臨床英語教育の推進  
㉒開講に必要な非常勤講師の確保、海外臨床実習の支援、検定受検
- ◆学生自主研究の奨励  
㉒研究活動支援、海外・他学・他研究機関への派遣支援
- 新 大学院入学料減免事業(医学研究科・看護学研究科)  
【予算額】 2,200千円（授業料）(㉗) - 千円
- 新 大学院奨学金(大学院博士課程)  
【予算額】 12,500千円（基金繰入金）(㉗) - 千円  
入学希望者の負担を軽減し、課程修了者を広く輩出することを目的として一定の要件を満たす者に対し、入学料の減免措置や奨学金を貸与
- 授業料減免事業(医学科・看護学科)  
【予算額】 17,500千円（授業料）(㉗) 15,900千円  
経済的に困窮している学生の負担を軽減するため、一定の要件を満たす者に対し、授業料の半額又は全額免除措置を実施
- 新 学外有識者委員会運営費  
【予算額】 2,000千円（県補助金）(㉗) - 千円  
教育・研究・診療各分野への評価・提言をいただく学外の高名な有識者による「学外有識者委員会」の運営費  
㉒委員からの意見聴取を行った上で、重点研究推進計画を策定
- 特別研究活動助成事業  
【予算額】 20,000千円（県補助金）(㉗)20,000千円  
大学全体の研究活動の一層の活性化を図るため、全学的・横断的に取り組む共同研究を支援
- 若手研究者研究活動助成事業  
【予算額】 5,000千円（県補助金）(㉗) 5,000千円  
優れた学術研究を行っている若手研究者に対し、更なる研究の発展を支援
- 女性研究者研究活動支援事業  
【予算額】 28,800千円（県補助金）(㉗) 28,700千円  
育児・介護中などの女性研究者支援のため、研究支援員の配置、相談業務などを実施

## 診療

- 新 E病棟完成記念事業  
【予算額】 2,300千円(自己収入)(㉗) - 千円  
平成28年度に完成するE病棟の竣工式・内覧会開催経費
- E病棟整備事業(施設整備)  
【予算額】 1,625,700千円(長期借入金・耐震化交付金)  
(㉗) 5,375,000千円
- E病棟整備事業(医療機器整備)  
【予算額】 3,000,000千円(長期借入金)(㉗)3,500,000千円  
84,000千円(自己収入)(㉗) - 千円
- 病院機能評価受審事業  
【予算額】 23,000千円(自己収入)(㉗) 700千円  
平成29年2月に受審予定の病院機能評価認定更新に向けた準備費用
- 新 総合医療情報システム更新準備事業  
【予算額】 5,000千円(自己収入)(㉗) - 千円  
平成30年度に予定しているシステム更新に向けた準備支援委託経費等
- 新 ドクターヘリ運航施設整備事業  
【予算額】 506,000千円(県補助金)(㉗) - 千円
- 新 ドクターヘリ運航推進事業  
【予算額】 54,700千円(県補助金)(㉗) - 千円  
平成29年1月からのドクターヘリ運航に向けたヘリポートの整備及び運航委託経費

## 法人運営

- 新 ストレスチェック事業  
【予算額】 3,800千円(自己収入)(㉗) - 千円  
労働安全衛生法の改正に伴い義務づけられたストレスチェック対応経費
- ワークライフバランス充実強化事業  
【予算額】 2,800千円(県補助金等)(㉗) 3,000千円  
職員の意識調査、部分休業代替職員の確保など
- なかよし保育園の運営  
【予算額】 89,500千円(保育料収入、県補助金等)  
(㉗)89,500千円  
職員の保育ニーズに対応するため、運営委託、病児保育委託を実施
- 募金推進事業  
【予算額】 15,000千円(基金繰入金)(㉗) 9,700千円  
「未来への飛躍基金」への募金を集めるため各種取組を実施

# 平成28年度予算編成方針

## 1. 予算編成における背景・課題

### 1. 中期目標・中期計画の達成

平成28年度で4年目を迎える第2期中期目標・中期計画については、県評価委員会による平成26年度の実績評価においては「順調に進んでいる」との評価を受けたところであるが、引き続き達成に向けた取り組みを継続していく必要がある。

### 2. キャンパス整備の推進

県と合同で開催している「医大の将来像策定会議」における議論を踏まえ、「施設整備基本構想の策定」などキャンパス整備を推進していく必要がある。

### 3. 大幅な費用増加

E病棟が竣工・供用開始されることに伴い減価償却費が約6億円増加する見込みであること、また人員確保や定期昇給等に伴い人件費が数億円増加する見込みであることなど、大幅な費用増加が予想される。

## 2. 予算編成方針の骨子

中期計画の実行に関わる取組、キャンパス整備を推進するために必要な取組については、県等の支援を活用し、必要な予算を確保する。

大幅な費用の増加に対応するため、収入の確保策、支出の削減策を検討し、予算編成に反映させる。

主要な施設整備や機器等の導入効果、人員の配置効果の検証を行い、課題の抽出・改善策の検討を行い、予算編成に反映させる。



収入：附属病院収入、外部資金、補助金

支出：医薬品費、診療材料費

上記の確保策・削減策について予算協議時に資料提出を求める。

人件費：事務職、医療技術職、看護職、医員

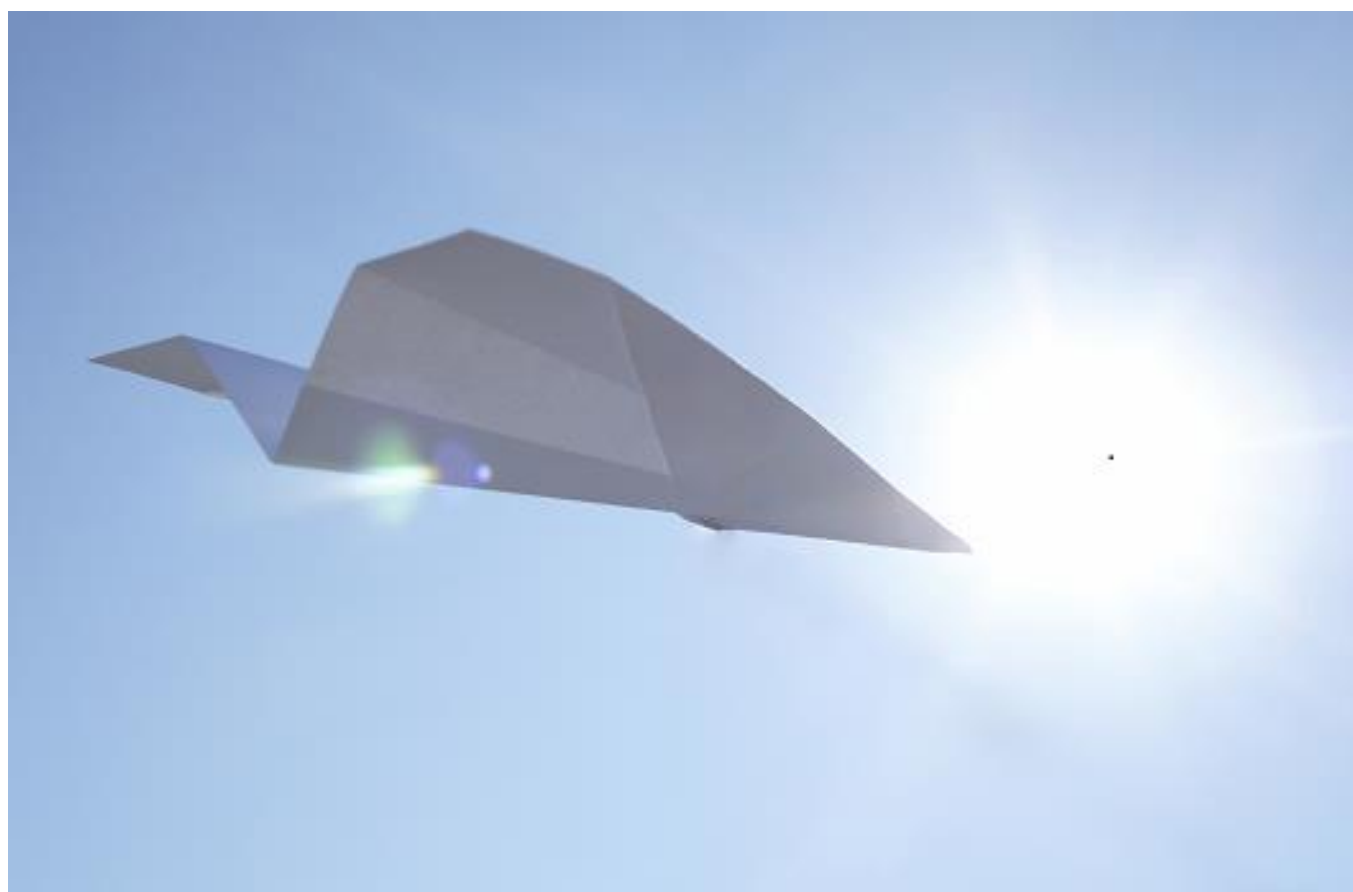
上記の配置状況、配置効果の検証（施設基準の取得状況など）、課題抽出・改善策について、予算協議時に資料提出を求める。

医療機器・施設整備

上記の当初想定投資効果、一定期間経過後の実績、課題抽出・改善策について、予算協議時に資料提出を求める。



# 医大の将来像策定について



# 将来像関係予算の概要

## 本学の「将来像」について ～「中期計画」と「将来像」～

- 法人が策定した第1期、第2期の中期計画は、県が定め法人に指示する中期目標を達成するため、6年間の中期計画期間において実施する取組を定めたものであり、中期計画期間を超える長期的観点から法人が目指すべき目標・方向性を定めた「目指すべき将来像」とも呼ぶべき長期目標がかねてより求められていた。
- 一方、第2期中期計画に掲げたキャンパスの移転・整備については、県と共に構想・計画を策定することとしているが、今後数十年にわたり本学諸活動のフィールドとなる新たなキャンパス・施設は、将来の教育・研究・診療のあり方を規定する重大なテーマであるため、整備内容の検討に先立ち、数十年後の将来を見据えて、どのような大学・附属病院を目指すのか、本学の将来像を明らかにすることが必要とされている。
- このような状況を本学のさらなる発展に向けた「新たな飛躍」の好機と捉え、現在、本学と県が共同で、本学の「建学の精神」とも呼ぶべき根本理念を改めて明確にするとともに、教育・研究・診療それぞれの「目指すべき将来像」及び「その実現のための方向性・取組」を、本学の『将来像』として新たに策定すべく検討を進めているところである。
- 今後、早急に『将来像』を取りまとめ、中期計画の前提となる本学の根本理念、将来に向けた歩みの方向性として、学内関係者が共有し、これを道標として着実に新たな奈良医大を築いていくことが求められる。
- さらに、『将来像』の策定と並行して、『将来像』を実現するためのキャンパスの整備について、その基本方針を『施設整備基本構想』として検討・取りまとめを行うこととしており、キャンパスの移転・整備に向けた着実な進捗を図ることとしている。

## 将来像の策定と実現に向けた取組

事業名	内容	予算額 (千円)
将来像策定事業	将来像の中間取りまとめに関する学内パブリックコメントの実施など、将来像の最終取りまとめに向けた取組を着実に実施	6,300 (27) 3,900
施設整備基本構想策定事業	医大の施設整備基本構想(ソフト面)の検討・取りまとめ	15,000 (27) 30,000
施設整備基本構想策定支援委託	医大の施設整備基本構想(ハード面)の策定支援を委託	85,000 (27) 20,000

# 平成28年度予算の内容



# 地域貢献予算の概要

## 第2期中期計画 I 地域貢献

### 1 医療人の育成（医師関連）

- 教養教育等を通じ奈良への愛着、県内の地域医療に対する意識を涵養するとともに、（仮称）県立医大医師派遣センターを設置・運営し、県内への高い就職率を確保する。
- （仮称）県費奨学生配置センターを設置し、県等との連携のもと、医師派遣システムを構築することにより、地域に必要な医師配置の実現に積極的に寄与する。

### 医療人の育成（看護師関連）

- （仮称）看護実践・キャリア支援センターを設置・運営する等、看護学生の就労支援を行い、県内就職率の向上に努める。

### 2 看護師の地域貢献

- 認定看護師・専門看護師を増やすとともに、附属病院看護部と看護学科が協働・連携する体制を構築し、看護職員等の教育・研修プログラム及びキャリア支援を充実させることにより、地域の看護師のレベルアップを目指す。

### 3 研究成果等の地域への還元

- 住居医学講座や（仮称）大和漢方医学薬学センター、スポーツ医学講座等を核として産学官連携による研究推進に取り組む。

### 4 健康増進の県民アプローチの充実

- 市町村や県が実施している健康増進事業に協力するとともに、予防医学や健康づくりの適切な情報や研究成果を提供することにより地域住民のセルフケアを支援する。

### 5 断らない救急医療体制の整備

- 県内の救急医療に関する諸機関の連携体制のもと、重篤な救急患者の受入を中心に、病院全体として断らない救急医療の実現に取り組む。

### 6 周産期医療体制の強化

- 総合周産期母子医療センターの機能充実と施設間ネットワークとの連携を図ることにより母体・新生児搬送受入率100%を目指すとともに、周産期医療を担い推進する人材（新生児科医、産科医、小児科医、小児外科医、助産師、看護師等）を養成する。

### 7 他の医療機関との連携強化

- 各種地域医療連携パス、退院調整の効果的な運用、地域医療連携連絡協議会の活性化、連携登録医制度の導入による逆紹介等の促進により、地域医療連携をより一層推進する。また、基幹型認知症疾患医療センター、中核的な緩和ケアセンターを設置・運営する。

### 8 県内医療人への助言・指導

- 県・市町村医師会や県看護協会と協働して、最新技術・情報を学べる研修やスキルスラボ実習を企画・実施するとともに、メーリングリスト等を活用した情報発信を行い、県内医療人のレベルアップに貢献する。

## <教育関連>

### 平成28年度 年度計画

#### 1. 医療人の育成（医師関連）

##### 医師派遣システムの適切な実行

##### （（仮称）県立医大医師派遣センターの設置・運営）

- （1）・医師配置の一元的な運営体制をさらに整備するために、引き続き医局及び関連病院との調整・連携を進め、院内医師適正派遣調整会議で協議する。
  - ・適正な医師マッチングの資料とするために、南奈良総合医療センターなどの県内関連病院の実態やニーズの調査を行う。
  - ・医師配置の透明性・客観性の確保のために、奈良県医師配置評価委員会で医師配置の適正性に関する評価を受け、その見解を適切な医師配置に反映させる。
- （2）新「奈良学」のカリキュラムを本格導入する。

#### 1. 医療人の育成（医師関連）

##### 医師派遣システムの適切な実行

##### （（仮称）県費奨学生配置センターの設置・運営）

- （1）・奈良県内に従事する医療人を育成するために、県費奨学生の交流及び奨学生への情報提供活動を拡充・定着させる。
  - ・県費奨学生のキャリアパスをアップデートしてその適用に努めるとともに、奨学生が十分に地域貢献できるように、地域配置などの支援を行う。

#### 1. 医療人の育成（看護師関連）

- （1）・看護学科学生への系統だったキャリアデザインプログラムを実施する。
  - ・卒前学生への基本的看護技術トレーニングを実施する。
  - ・実習指導者の教育能力育成プログラムを実施する。
- （2）奈良県からの補助金を財源として、看護学科学生を対象とした「（仮称）在宅看護リーダー養成コース」を運営する。
  - ・看護学科3年生から5名を選考して、10万円/月の奨学金を卒業まで貸与
  - ・県内での在宅看護学スペシャリストの養成を行うための特別プログラムを実施

#### 2. 看護師の地域貢献

- （1）・引き続き認定看護師養成研修に派遣し、養成を推進する。各分野に複数名（2名以上）を確保できるよう、少数人員の分野を優先し養成を目指す。
  - ・認定看護師教育課程に関する情報を看護職員に周知し、相談・支援体制を構築する。
- （2）・CNSが高度実践看護師またはNP(\*)に制度移行していくことが日本看護協会で決定されたことを踏まえ、本学がすでに実施している看護師特定行為研修制度と大学院教育との単位互換等の詳細が国等で決定されたのち実施の計画を立てる。
  - ・看護師特定行為指定研修について、「急性期コース」を引き続き実施するとともに、「在宅医療コース(仮称)」の新設に向けた計画を立てる。
- （3）・本院の看護職員が地域全体の看護のレベルアップのため公開講座の他、他施設に出向して指導、助言および実習を含む研修受け入れを積極的に行う。
  - ・退院支援の推進、在宅医療および看護に習熟した看護師の育成に向けてプログラムを作成する。
  - ・「認知症を持つ患者への対応力向上研修会」の拡大を図る。
- （4）看護実践・キャリア支援センター運営委員会を中心として情報交換を行いながら、相互（病院看護部、大学看護学科、看護協会）の連携を強化し、共に教育研修を進める。
- （5）・平成27年度設置のスキルスラボ委員会を主体とし、スキルスラボの利用促進を図る。
  - ・地域へのオープン化のあり方について方針を決定する。

関連予算

		(千円)
事業名	内容	予算額
県立医大医師派遣センター運営事業	県内の公立・公的病院等からの医師派遣要請に対応し、医師のマッチングを行う県立医大医師派遣センターを運営	16,800 (27) 15,000)
県費奨学生配置センター運営事業	県費奨学生(緊急医師確保修学資金・医師確保修学資金)の地域配置を行う県費奨学生配置センターを運営	5,400 (27) 4,700)
地域医療学講座事業費	県からの補助金を財源に、地域医療に関する研究を行う講座を設置	25,100 (27) 27,000)
新「奈良学」のカリキュラムへの本格導入	奈良を愛し、奈良に貢献する医療人を育成するため、新「奈良学」をカリキュラムに本格導入(※良き医療人育成推進事業、教養教育部門教育関係講師謝金の内数)	1,100 (27) — )
看護実践・キャリア支援センター運営事業	看護学科学生及び看護師の教育、研修及び研究の支援、キャリア支援等を行う看護実践・キャリア支援センターを運営	23,400 (27) 14,800)
看護師特定行為指定研修の実施	厚生労働大臣の指定を受け、平成28年1月から看護師特定行為指定研修「急性期コース」を実施	
(新)在宅医療看護人材育成支援奨学金	県内における在宅医療看護を牽引するリーダーを育成するため、一定の要件を満たす者に対し奨学金を貸与	6,000 (27) — )
認定看護師養成研修への派遣	専門的な看護能力向上のため、認定看護師教育課程への派遣を実施(※看護師研修事業の内数)	3,000 (27) 3,000)



## < 研究関連 >

### 平成28年度 年度計画

#### 3. 研究成果の地域への還元

- (1) 学外の高名な有識者による学外有識者委員会を設置し、意見を聞いたうえで、重点研究推進計画を策定する。(後掲:Ⅲ-1)
- (2) 各講座・領域等研究についての外部専門家を含む評価体制を構築する。(後掲:Ⅲ-1)
- (3) 県民への啓発、教育・研究・診療を行うなど大和漢方医学薬学センターを運営する。
  - ・大学院専攻科目設置の準備を行う。
- (4) 一般社団法人MBT(Medicine-Based Town)コンソーシアムに参画し、橿原市や会員企業等と連携してMBTに関する諸事業を実施する。

#### 4. 健康増進の県民アプローチの充実

- (1) 県民健康増進支援センターにおいて以下の取組を行う。
  - ・センターの広報活動を推進する。
    - ・HPを更新し最新情報を発信する。
    - ・ニュースレターを年2回発行する。
  - ・県市町村の保健事業にかかる調査・データ分析を行う。
    - ・すでに依頼のある香芝市との共同調査を進める。
    - ・県実施の「県民健康・栄養調査」への助言・指導を行う。
    - ・その他、県市町村からのその都度の要請に応じて調査、データ分析を進める。
  - ・県、市町村の職員を対象とした研修会を年2回開催する。平成27年度の参加者からの要望を盛り込むなどして、実施方法や内容の改善を目指す。
  - ・得られた成果を、HPやニュースレターに掲載したり、研修会・講演会・学会等で発表したりして、広く公表する。
- (2) 公開講座「くらしと医学」を年2回開催する。予防医学の研究成果だけでなく、より実践的な情報(例えば、生活習慣の改善方法など)を提供し、日常の健康づくりを推進するようなテーマを盛り込んでいく。
  - ・深い理解を得るため、一貫したテーマの講座や若者・子育て世代が関心を持つテーマの講座等を試行し、満足度をはかる。また、従前のホールでの講座以外の形式についてニーズを把握し調整する。
- (3) 中間評価を踏まえ、健康長寿大規模コホート研究を継続実施する。

関連予算

		(千円)
事業名	内容	予算額
(新)学外有識者委員会運営費	教育・研究・診療各分野への評価・提言をいただく学外の高名な有識者による「学外有識者運営委員会」の運営費 ⑳ 意見聴取の上、重点研究推進計画を策定	2,000 (㉑ - )
研究評価委員会運営事業	研究の適切な成果評価を行うため、外部有識者を含む評価委員会を運営	4,100 (㉑ 3,200)
大和漢方医学薬学センター運営事業	漢方の教育・研究、人材育成及び地域医療従事者への研修・普及を行う大和漢方医学薬学センターを運営	23,000 (㉑ 10,800)
奈良医大MBT構想の推進	MBT(医学を基礎とするまちづくり)構想推進のため、一般社団法人MBTコンソーシアムに参画し、橿原市や会員企業と連携して諸事業を実施	
県民健康増進支援センター運営事業	市町村や県の健康増進事業への協力、公開講座の開催など地域住民のセルフケアを支援する、県民健康増進支援センターを運営	18,800 (㉑ 18,800)
公開講座の開催	「くらしと医学」をテーマに、広く県民を対象に講座を開催 日程:平成28年9月、平成29年2月(予定) 場所:橿原文化会館、奈良県文化会館 (※県民健康増進支援センター運営事業の内数)	1,000 (㉑ 1,000)
健康長寿大規模コホート助成事業	「奈良県健康長寿コホースタディ」に資するため、県内在住者、通学・通勤者、医療機関受診者を対象とした本学教員が行うコホート研究に対し助成	24,200 (㉑ 24,000)

## <診療関連>

平成28年度 年度計画

### 5. 断らない救急医療体制の整備

「断らない救急医療」実現のためのさらなる体制の整備と強化を行う。

- ・後方支援病院と連携しながら土日ERを運用する。
- ・中南和地域救急患者受入等意見交換会において、病病連携や後方連携に関する協議を引き続いて行う。
- ・関連病院と重症腹症（腹痛・吐血）救急患者受入ネットワークを運用する。
- ・医師等救急医療従事者の負担軽減対策を実施する。
- ・高度救急医療を担う医師、看護師等を確保する。
- ・専門医や認定看護師の養成を推進する。（スキルアップのための研修会等への参加）

### 6. 周産期医療体制の強化

リスクの高い妊婦に対する医療や高度な新生児医療等の周産期医療を担う本院総合周産期母子医療センターの円滑な運営を以下の通り行う。

- ・新棟オープンに伴う機能の充実
- ・母体搬送コーディネーター事業を引き続いて実施
- ・奈良県医師確保修学資金制度に基づき、産科医・小児科医の確保対策を継続実施
- ・引き続き産科・小児科を特定診療科とする
- ・産科、小児科に進む県費奨学生のキャリアパスの見直しの検討
- ・周産期医療従事者等への研修会の開催

### 7. 他の医療機関との連携強化

(1) 地域医療機関との連携を強化し、予約診療および逆紹介等の促進を図る。

(2) 地域医療連携パスおよび退院調整の効果的な運用を促進する。

(3) がん看護外来の充実、院内マニュアルの見直し等、都道府県がん診療連携拠点病院に求められる機能の充実により、中核的な緩和ケアセンターとしての役割を果たす。

(4) 基幹型認知症疾患医療センターを引き続き運営する。

(5) リーフレットの配布やホームページの更新により、医療情報を発信する。

- ・地域医療連携を推進する「地域医療連携懇話会」及び「なら地域医療連携実務者協議会」を各々1回以上開催する。
- ・地域医療従事者を対象とした研修会を開催する。

### 8. 県内医療人への助言・指導

(1) リーフレットの配布やホームページの更新により、医療情報を発信する。

- ・地域医療連携を推進する「地域医療連携懇話会」及び「なら地域医療連携実務者協議会」を各々1回以上開催する。
- ・地域医療従事者を対象とした研修会を開催する。（再掲 I-7）

(2) 平成27年度設置のスキルスラボ委員会を主体とし、スキルスラボの利用促進を図る。

- ・地域へのオープン化のあり方について方針を決定する。（再掲：I-2）

関連予算

		(千円)
事業名	内容	予算額
土日24時間ER体制の実施	県が推進する「断らない救急医療体制」に寄与するため、平日20時まで及び土曜日9時から月曜日9時までの24時間のER体制を実施(従事医師にER手当等を支給)	46,400 (27) 34,000)
(新)ドクターヘリ運航施設整備事業	平成28年度中のドクターヘリ運航に向けたヘリポートの整備費用(C棟屋上にヘリポートを新設)	506,000 (27) — )
(新)ドクターヘリ運航推進事業	奈良県独自のドクターヘリ導入のための、運航業務委託経費	54,700 (27) — )
周産期医療体制強化事業	母体・新生児搬送コーディネーターの運営、新生児蘇生・救急講習会の実施など	12,700 (27) 12,100)
地域医療連携事業	初診紹介患者予約診療、転退院調整、地域医療連携パスの実施、地域医療連携懇話会の開催、なら地域医療連携実務者協議会(通称:たいぶつの会)の実施など	1,500 (27) 1,700)
地域医療連携システム運営事業	平成25年度に導入した「地域医療連携システム」の保守に係る経費	1,000 (27) 1,000)
(新)初診紹介予約システム再構築事業	利便性の向上、インターネットによる患者本人からの予約を可能とするなど予約システムの機能向上を図る	4,000 (27) — )
都道府県がん診療連携拠点病院関連経費	がん診療における県の中心的な役割を果たすため、がん診療連携協議会、がん相談、まほろばPEACE緩和ケア研修会などの諸事業を実施	28,800 (27) 23,800)
認知症疾患医療センター運営事業	地域における認知証疾患の保険医療水準の向上ため、医療機関等との連携、鑑別診断、急性期治療、専門医療相談及び医療・介護従事者への研修等を実施	1,300 (27) 1,300)

# 教育予算の概要

## 第2期中期計画 II 教育

### 1 リベラルアーツ教育の実践 医の心をもった医療人の育成 医療経営に関する教育の確保

○カリキュラムの見直し・再構築を行い、医療人にふさわしい教養や倫理観を培うリベラルアーツ教育、および国際感覚、実践的英語能力等の習得を目的とした幅広い教育を強化する。

### 2 教育内容の評価

○教員の教育力向上のためのFD(Faculty Development)活動の活性化および教員と学生の双方向性の授業評価システムを構築することにより、講義・実習・研修内容の充実を図る。

### 3 老朽・狭隘施設への対策

○新キャンパスへの教育・研究部門の移転計画を積極的に推進する。

## 平成28年度 年度計画

### 1. リベラルアーツ教育の充実 医の心を持った医療人の育成 医療経営に関する教育の確保

- (1)「良き医療人育成のためのプログラム」を実践する。
  - ・カリキュラムをブラッシュアップするため、外部評価委員による評価を実施する。
- (2)3年ごとに実施している学生生活実態調査(医師又は看護師になる自覚やカリキュラム・授業への満足度を含めた調査)を全学生に実施し、「奈良県立医科大学2016年度医学科(看護学科)学生白書」としてまとめる。

### 2. 教育内容の評価

- (1)・医学科および看護学科において、授業評価を実施し、評価結果を教員に通知する。
  - ・教員に評価結果を基にした授業改善調査を実施する。
  - ・授業評価の集計結果を分析し公表する。
  - ・評価方法等の見直しなど、授業評価を工夫する。
- (2)平成27年度FD活動実績に基づく表彰式を実施するとともに、表彰記事を学報に掲載する。
- (3)・教員を対象とした研修会を7回実施し、研修結果を分析・評価する。
  - ・新任教員の受講義務化を徹底する。
  - ・研修会の参加者増につなげるため、研修形式等の工夫と内容強化を図る。

### 3. 老朽・狭隘施設への対策

- ・「医大の目指すべき将来像」の中間取りまとめについて、学内パブリックコメントを実施し、法人構成員との情報共有・意見交換を図るとともに、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、「医大の目指すべき将来像」のうち、残る“まちづくり”等について検討し、最終取りまとめを行う。
- ・「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、将来像実現に必要な施設整備の基本的考え方となる「施設整備基本構想」を検討する。





# 研究予算の概要

## 第2期中期計画 III 研究

### 1 研究の適切な成果評価

○研究に関する外部有識者を含む自己評価委員会を設置・運営するとともに、教室主任に研究目標の明確化を求め、達成状況を自己評価させ、極めて高い研究業績をあげた者に対する顕彰制度を新設する。

### 2 有能な研究者の獲得

○研究医養成コースの充実に加え、学内共同研究プロジェクトや若手研究者への支援制度の充実等により、基礎医学・社会医学・臨床医学の研究を推進する高度な知識・能力と意欲を持つ研究人材を育成し、大学全体の研究競争力を高める。

### 3 健康・予防医療等研究範囲の拡大

○OMBT構想や奈良県健康長寿コホートスタディ等について計画・推進し、住民の健康増進に貢献するリビングサイエンスを推進する。

### 4 研究環境の改善

○新キャンパスへの教育・研究部門の移転計画を積極的に推進する。(再掲: II-3)

## 平成28年度 年度計画

### 1. 研究の適切な成果評価

- (1)学外の高名な有識者による学外有識者委員会を設置し、意見を聞いたうえで、重点研究推進計画を策定する。(先掲: I-3)
- (2)各講座・領域等研究についての外部専門家を含む評価体制を構築する。(先掲: I-3)

### 2. 有能な研究者の獲得

- (1)学外の高名な有識者による学外有識者委員会を設置し、意見を聞いたうえで、重点研究推進計画を策定する。(再掲: III-1)
- (2)学生の自主的な研究活動に対する支援制度を引き続き運用する。
  - ・学生が学会、研究会等へ参加する際の交通費を助成
  - ・学生が自主的かつ継続的に各教室に出入りして研究活動を行った場合、当該教室に学生研究活動費を助成
- (3)研究推進戦略本部において、特別共同研究助成事業や若手研究者研究助成事業の募集、対象者決定、助成など引き続き実施する。
- (4)・女性研究者支援センターを中心に女性研究者の研究継続支援など女性研究者への支援を継続する。
  - ・女性研究者支援に関する広報・啓発活動の実施。
  - ・女性研究者表彰制度の継続実施。
  - ・女性研究者支援に関する国の支援事業に申請する。

### 3. 健康・予防医療等研究範囲の拡大

- (1)一般社団法人MBTコンソーシアムに参画し、檀原市や会員企業等と連携してMBTに関する諸事業を実施する。(再掲: I-3)
- (2)中間評価を踏まえ、健康長寿大規模コホート研究を継続実施する。(再掲: I-4)

### 4. 研究環境の改善

- ・「医大の目指すべき将来像」の中間取りまとめについて、学内パブリックコメントを実施し、法人構成員との情報共有・意見交換を図るとともに、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、「医大の目指すべき将来像」のうち、残る”まちづくり”等について検討し、最終取りまとめを行う。
- ・「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、将来像実現に必要な施設整備の基本的考え方となる「施設整備基本構想」を検討する。(再掲: II-3)

関連予算

(千円)

事業名	内容	予算額
(新)学外有識者委員会運営費 (再掲)	教育・研究・診療各分野への評価・提言をいただく学外の高名な有識者による「学外有識者運営委員会」の運営費 ⑳ 意見聴取の上、重点研究推進計画を策定	2,000 (㉑ - )
研究評価委員会運営事業(再掲)	研究の適切な成果評価を行うため、外部有識者を含む評価委員会を運営	4,100 (㉑ 3,200)
学生研究活動支援事業	学生がカリキュラム外で自主的に行う研究活動を支援(受入先教室、学生へ助成)	2,000 (㉑ 1,000)
特別研究活動助成事業	大学全体の研究活動の一層の活性化を図るため、全学的・横断的に取り組む共同研究を支援 予算内で原則2課題、2年間助成	20,000 (㉑ 20,000)
若手研究者研究活動助成事業	優れた研究を行っている若手研究者に対し、更なる研究の発展を支援 予算内で原則10課題、1年間助成	5,000 (㉑ 5,000)
若手研究者への支援	若手の国際学会発表の機会を増大させ、国際的に活躍できる人材の育成のため、渡航費の一部を支援	1,000 (㉑ 800)
女性研究者研究活動支援事業	女性研究者が研究を継続・発展させ、キャリアアップを図ることができる環境整備を実施(女性研究者支援センターの運営費)	28,800 (㉑ 28,700)
産学官連携活動事業	産学官連携推進センター特任教授の配置、シーズ出展、シーズ・ニーズの情報発信、シンポジウム開催など産学官連携に必要な経費	37,300 (㉑ 37,400)
医の倫理委員会開催経費	「医の倫理委員会」開催経費 ⑳ 臨床研究中核病院申請のため、開催回数増	2,700 (㉑ 1,200)
奈良医大MBT構想の推進(再掲)	MBT(医学を基礎とするまちづくり)構想推進のため、一般社団法人MBTコンソーシアムに参画し、橿原市や会員企業と連携して諸事業を実施	
健康長寿大規模コホート助成事業(再掲)	「奈良県健康長寿コホートスタディ」に資するため、県内在住者、通学・通勤者、医療機関受診者を対象とした本学教員が行うコホート研究に対し助成	24,200 (㉑ 24,000)
研究用大型備品の整備	総合研究棟に設置されている共用研究備品が老朽化しているため、整備計画に基づき、年次的に更新	13,000 (㉑ 13,000)
医学科・看護学科・教養教育部門 教員研究費	平成27年度に見直した配分基準に基づき、各講座・領域に研究費を配分	173,200 (㉑ 167,500)
寄附講座の設置	血栓制御医学講座、血圧制御学講座、人工関節・骨軟骨再生医学講座、スポーツ医学講座、血友病治療・病態解析学講座、手の外科講座	70,000 (㉑ 75,000)

# 診療予算の概要

## 第2期中期計画 IV 診療

### 1 医師・看護師等の離職防止と人材確保

○医師・看護師等の適正な増員と配置及び短時間正規労働制度の導入等によるワークライフバランスの改善を図るとともに学内保育園の充実と利用の促進により、女性医師・看護師等の就職促進と離職防止を図る。

### 2 がん拠点病院としての機能の充実

○都道府県がん診療連携拠点病院にふさわしい医療体制を構築するとともに、高度先進的な施設・機器を整備することにより、充実したがん治療を実施し、生存率の向上を目指す。

### 3 治療成績の一層の向上

○(仮称)診療内容向上委員会を設置・運営するとともに、医大版臨床指標(Clinical Indicator)を定めて、診療の質と量に対する現状分析を行い、治療成績の一層の向上を図る。

### 4 患者満足の一層の向上

○医療人のホスピタリティマインドの醸成及び患者の意見、要望を反映させた病院運営を行い、患者満足の一層の向上を図る。

### 5 老朽・狭隘施設への対策

○附属病院のさらなる充実を目指し、(仮称)中央手術棟の工程通りの完成と円滑な運営を推進するとともに、新外来棟への早期改築を立案し、早期着工への道筋を示す。また、老朽かつ狭隘な診療関連施設(臨床医学研究棟・臨床研修センター等)の早期改築を行う。

## 平成28年度 年度計画

### 1. 医師・看護師等の離職防止と人材確保

ワークライフバランス検討委員会において、以下の取組を実施する。

- ・年次有給休暇の取得促進、超過勤務の縮減等について、継続して検討を行う。
- ・平成27年度に実施したアンケート調査結果を集計、分析する。
- ・ワークライフバランスの充実のための諸施策の現状を分析し、職員のニーズとの乖離を把握する。必要に応じ、見直し等を検討する。

### 2. がん拠点病院としての機能の充実

- (1) がん診療に関する施設・機器を整備し充実を図る。  
リニアックの増設、SPECT-CTへの更新、PET-CTの新設  
・放射線療法医師、化学療法医師等のがん専門医の育成・確保に努める。  
・がん専門医臨床研修事業等、がん医療に携わる人材の養成のための研修を実施する。  
・がん相談専門員研修を受講させるなど、相談員のがん相談スキルを向上させる。
- (2) がん看護外来の充実、院内マニュアルの見直し等、都道府県がん診療連携拠点病院に求められる機能の充実により、中核的な緩和ケアセンターとしての役割を果たす。(再掲: I-7)
- (3) 多職種連携によるチーム医療体制の充実に向けた取組を実施  
・がん化学療法医療チーム研修の実施  
・緩和ケアチーム研修の実施  
・がんセンターボード等効率よく運用する。
- (4) 奈良県内の院内がん登録の分析、評価方法の作成。

### 3. 治療成績の一層の向上

医療の質評価委員会において臨床指標について他院とベンチマークを行い、内容分析し、改善内容を検討する。

### 4. 患者満足の一層の向上

- (1) 患者意見を反映するため、引き続きホスピタリティマインド向上委員会を運営する。
- (2) 前年度のホスピタリティマインド醸成研修の実施状況や研修参加者の意見を総合的に勘案し、全ての病院職員がより参加しやすく、より効果的で魅力のある研修が実施できるよう、受講者アンケートの結果等を踏まえ、研修内容の検証のうえ実施方法を検討する。
- (3) E棟ふれあいホール(仮称)の整備、1階外来廊下の改修や待合の改修を行う。また、案内業務の充実と質の向上を図る。

### 5. 老朽・狭隘施設への対策

- (1) E病棟の平成28年6月中の竣工を目指し、年度内のフルオープンに向け、Ⅱ期工事及び関連の調整を推進する。
- (2) 「医大の目指すべき将来像」の中間取りまとめについて、学内パブリックコメントを実施し、法人構成員との情報共有・意見交換を図るとともに、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、「医大の目指すべき将来像」のうち、残る「まちづくり」等について検討し、最終取りまとめを行う。  
・「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、将来像実現に必要な施設整備の基本的考え方となる「施設整備基本構想」を検討する。(再掲: II-3)
- (3) 臨床医学研究棟の仮移転先としてA棟改修設計を行う。

## 関連予算

(千円)

事業名	内容	予算額
(新)E病棟完成記念事業	平成28年度に完成するE病棟の竣工式・内覧会開催経費	2,300 (27) — )
E病棟整備事業(施設整備)	中南和地域における高度医療拠点病院として機能充実を図るため、新病棟を建設 (※竣工延期により、平成27年度執行残額を再計上) 工期:平成22年度～平成28年度	1,625,700 (27) 5,375,000)
E病棟整備事業(医療機器整備)	E病棟整備に併せて、医療機器等を購入 (リニアック、手術機器等) (※竣工延期により、平成27年度執行残額を再計上)	3,084,000 (27) 3,500,000)
(新)E病棟関連委託費	E病棟竣工後に行う、引っ越し作業及び廃棄物処理委託費用	32,000 (27) — )
都道府県がん診療連携拠点病院関連経費(再掲)	がん診療における県の中心的な役割を果たすため、がん診療連携協議会、がん相談、まほろばPEACE緩和ケア研修会などの諸事業を実施	28,800 (27) 23,800)
患者満足向上事業	ホスピタルティマインド向上委員会の運営及びホスピタルティマインド醸成研修の実施	2,200 (27) 3,400)
(新)院内患者サポート事業	車いす患者にきめ細かく対応するサポート職員を配置し、患者サービスの向上を図る	4,500 (27) — )
病院機能評価受審事業	平成29年2月に受審予定の病院機能評価認定更新に向けた準備費用	23,000 (27) 700)
(新)臨床検査室ISO認定取得事業	臨床研究中核病院の承認要件である臨床検査室認定(ISO15189)取得にかかるコンサルティング業務委託経費	8,000 (27) — )
(新)総合医療情報システム更新準備事業	平成30年度に予定しているシステム更新に向けた準備支援委託経費等	5,000 (27) — )
感染症病棟の改修	MARSなどの第2類感染症の発生に対応するため、第2種指定病床7床を陰圧対応病床に整備(27からの継続事業)	33,200 (27) 60,300)
(新)A棟改修事業	臨床医学研究棟の仮移転先としてA棟改修設計を実施	78,900 (27) — )
(新)大型設備更新事業	老朽化した大型設備について2カ年で計画的に更新 B棟ナースコール(27からの継続)、電話交換機設備、中央監視装置、自家発電機設備(28)29)2カ年)	778,000 (27) — )
医療用機器の整備	県からの長期借入金等を財源として、高度で先進的な機器など本院の役割にふさわしい医療機器の充実	829,800 (27) 927,500)

# まちづくり予算の概要

## 第2期中期計画 V まちづくり

### 1 教育・研究部門の円滑な移転と新キャンパス整備

○平成33年中の新キャンパスオープンを目指し、教育・研究機能の充実と地域に貢献できる新たな機能を備えた整備計画を進める。

### 2 地域に開かれたキャンパスづくり

○新キャンパスの構想計画においては、交流広場や緑地等の地域との交流を図る施設、図書館・食堂・コンビニ・グラウンド等を設置し、県民への開放に努める。

### 3 教育・研究部門移転後の跡地活用

○現キャンパス跡地においては、憩いの広場、診療関連施設、新外来棟等の整備計画を推進するとともに、医大が進めるMBT構想を踏まえ、県と市のまちづくりのグランドデザインに沿った「医療、介護、福祉が連携した健康まちづくり」の整備計画に参画する。

### 4 移転を契機とした研究分野での地域貢献

○新キャンパスにおいては、(仮称)大和漢方医学薬学センターの設置等、一定規模の産学官連携ゾーンを整備し、県や市と連携しながら、医農商工連携の一層の推進に寄与する。また、他大学との共同大学院構想を策定し、研究部門の強化を図る。

### 5 健康づくり・予防医療等への貢献

○OMB T構想や奈良県健康長寿コホートスタディ等について計画・推進し、住民の健康増進に貢献するリビングサイエンスを推進する。(再掲:Ⅲ-3)

## 平成28年度 年度計画

### 1 教育・研究部門の円滑な移転と新キャンパス整備

- ・「医大の目指すべき将来像」の中間取りまとめについて、学内パブリックコメントを実施し、法人構成員との情報共有・意見交換を図るとともに、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、「医大の目指すべき将来像」のうち、残る”まちづくり”等について検討し、最終取りまとめを行う。
- ・「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、将来像実現に必要な施設整備の基本的考え方となる「施設整備基本構想」を検討する。(再掲: II-3)

### 2 地域に開かれたキャンパスづくり

- ・「医大の目指すべき将来像」の中間取りまとめについて、学内パブリックコメントを実施し、法人構成員との情報共有・意見交換を図るとともに、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、「医大の目指すべき将来像」のうち、残る”まちづくり”等について検討し、最終取りまとめを行う。
- ・「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、将来像実現に必要な施設整備の基本的考え方となる「施設整備基本構想」を検討する。(再掲: II-3)

### 3 教育・研究部門移転後の跡地活用

- (1) 「医大の目指すべき将来像」の中間取りまとめについて、学内パブリックコメントを実施し、法人構成員との情報共有・意見交換を図るとともに、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、「医大の目指すべき将来像」のうち、残る”まちづくり”等について検討し、最終取りまとめを行う。
  - ・「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、将来像実現に必要な施設整備の基本的考え方となる「施設整備基本構想」を検討する。(再掲: II-3)
- (2) 臨床医学研究棟の仮移転先としてA棟改修設計を行う。(再掲: IV-5)

### 4 移転を契機とした研究分野での地域貢献

- (1) 各講座・領域等研究についての外部専門家を含む評価体制を構築する。(再掲: III-1)
- (2) 県民への啓発、教育・研究・診療を行うなど大和漢方医学薬学センターを運営する。
  - ・大学院専攻科目設置の準備を行う。(再掲: I-3)
- (3) 一般社団法人MBTコンソーシアムに参画し、橿原市や会員企業等と連携してMBTに関する諸事業を実施する。(再掲: I-3)

### 5 健康づくり・予防医療等への貢献

- (1) 一般社団法人MBTコンソーシアムに参画し、橿原市や会員企業等と連携してMBTに関する諸事業を実施する。(再掲: I-3)
- (2) 中間評価を踏まえ、健康長寿大規模コホート研究を継続実施する。(再掲: I-4)



## 関連予算

(千円)

事業名	内容	予算額
将来像策定事業(再掲)	将来像の中間取りまとめに関する学内パブリックコメントの実施など、将来像の最終取りまとめに向けた取組を着実に実施	6,300 (27) 3,900)
施設整備基本構想策定事業(再掲)	医大の施設整備基本構想(ソフト面)の検討・取りまとめ	15,000 (27) 30,000)
施設整備基本構想策定支援委託(再掲)	医大の施設整備基本構想(ハード面)の策定支援を委託	85,000 (27) 20,000)
医大周辺まちづくりプロジェクト事業	移転予定地の土壌調査、文化財試掘を実施	55,000 (27) 75,000)
(新)A棟改修事業(再掲)	臨床医学研究棟の仮移転先としてA棟改修設計を実施	78,900 (27) — )
研究評価委員会運営事業(再掲)	研究の適切な成果評価を行うため、外部有識者を含む評価委員会を運営	4,100 (27) 3,200)
奈良医大MBT構想の推進(再掲)	一般社団法人MBTコンソーシアムに参画し、橿原市や会員企業等と連携してMBTに関する諸事業を実施	
大和漢方医学薬学センター運営事業(再掲)	漢方の教育・研究、人材育成及び地域医療従事者への研修・普及を行う大和漢方医学薬学センターを運営	23,000 (27) 10,800)
健康長寿大規模コホート助成事業(再掲)	「奈良県健康長寿コホートスタディ」に資するため、県内在住者、通学・通勤者、医療機関受診者を対象とした本学教員が行うコホート研究に対し助成	24,200 (27) 24,000)

# 法人運営予算の概要

## 第2期中期計画 VI 法人運営

### 1 ガバナンス体制の充実強化

○中期目標・中期計画を始めとし、法人の運営方針や規範等の情報について全教職員が共有し、一丸となって業務に取り組む。また、広報体制を充実し、様々な広報媒体を活用して、法人の取り組みを積極的に発信する。

### 2 ワークライフバランスの充実強化

○医師・看護師等の適正な増員と配置及び短時間正規労働制度の導入によるワークライフバランスの改善等により、仕事と生活が両立できる働きやすい職場環境の構築を図る。

### 3 同窓会・歴代卒業生との連携

○同窓会や卒業生との連携・交流を強化し、母校愛の育成と協力意識の向上を図るとともに、大学移転を踏まえた教育・研究環境の整備・充実のため、広く寄附を募る。

### 4 繰越欠損金の解消

○県からの運営費交付金を確保しつつ、効率的・効果的な大学・病院経営を行い、第2期中期目標期間において繰越欠損金の解消に努める。

## 平成28年度 年度計画

### 1. ガバナンス体制の充実強化

- (1) 医大の将来像に沿った行動規範を作成し、全教職員への周知方法を検討する。
- (2) 中期計画・平成28年度計画について、27年度に実施した年度別アクション見直し後の計画が適切に実施されるよう、項目責任者による執行役員会議において進捗管理を行う。加えて、同会議において、平成27年度の法人自己評価を行うとともに、県評価委員会の評価結果を各部局にフィードバックする。  
これらにより、平成28年度計画の実施において、法人自己評価の評定A(「年度計画を十分実施している」)以上の項目割合を90%以上とする。
- (3) 学報の配布を教職員・関連大学・病院等のみならず、公共施設(駅等)にも配布することにより、本法人のとりくみ等をより広く発信する。  
また、HPの内容をより充実させ、引き続き、理事長・学長が本学にとって重要と考える情報や考えを全教職員及び学生へメール配信を行う。
- (4) キャリアパスの作成を含めた人事制度改革に向けて、実態把握、課題抽出を行う。また、職員採用、職員研修についても、継続的な実施ならびに効果検証・検討を行う。

### 2 ワークライフバランスの充実強化

- (1) ワークライフバランス検討委員会において、以下の取組を実施する。
  - ・年次有給休暇の取得促進、超過勤務の縮減等について、継続して検討を行う。
  - ・平成27年度に実施したアンケート調査結果を集計、分析する。
  - ・ワークライフバランスの充実のための諸施策の現状を分析し、職員のニーズとの乖離を把握する。必要に応じ、見直し等を検討する。(再掲: IV-1)

### 3 同窓会・歴代卒業生との連携

- (1) 看護学科でも同窓会会員に学報を定期的に発送することにより本学の情報を適時発信するとともに、同窓会や卒業生との連携を推進し、母校愛の育成と寄附金等協力意識の向上を図る。
- (2) 教育・研究環境の整備・充実のための寄附金の募集を推進する。
  - ・実績の管理・評価、必要に応じた募集方策の見直しを実施する。
  - ・大学を取り巻く環境の変化も考慮した適切な活用策を検討・実施する。

### 4 繰越欠損金の解消

- (1) 法人全体の財務分析・附属病院のSWOT分析等により、経営上の課題を抽出し、改善方策を検討・実行するとともに、中長期的収支見通しを策定し、中長期的な経営見通しの検証と要因分析を実施する。
- (2) 適切な水準の病床稼働率の確保、平均在院日数の適正化、施設基準の取得・維持等により診療収入の確保を図るとともに、精度向上による診療報酬請求の一層の適正化、債権の適正な管理による未収金の抑制を図る。  
また、診療報酬改定に適切に対応する。
- (3) 他院購入実績データを活用した価格交渉や安価な代替品への切替等により、医薬・診療材料費を抑制し、医薬・診療材料費比率の逡減を図る。
- (4) 中長期的な人件費見通しやこれまでの投資及び今後の投資見込みによる影響額を算出し、経営上の妥当性について検証する。

## 関連予算

(千円)

事業名	内容	予算額
広報事業費	法人の取組・方針等を新聞等に掲載することにより、広く内外へ周知	2,000 (27) 1,000)
奈良医大プロモーション事業	本学の医療資源や技術、人材などを対外的に広く周知するため、県内外でのイベント等を実施	1,500 (27) 5,000)
情報システムの運営・整備	学内ネットワークの運営管理、ホームページの管理、情報セキュリティ強化、IT機器一括購入等	57,700 (27) 49,300)
(新)人事制度改正事業	キャリアパスの作成を含めた人事制度改正に向けた実態把握、課題抽出の実施、人事・労務諸制度改正対応のためのコンサルティング委託経費	7,800 (27) — )
(新)ストレスチェック事業	労働安全衛生法の改正に伴い義務づけられたストレスチェック対応経費	3,800 (27) — )
ワークライフバランス充実強化事業	ワークライフバランス充実のための職員の意識調査、短時間勤務制度拡充による部分休業取得職員の代替職員の確保経費	2,800 (27) 3,000)
なかよし保育園の運営	職員の保育ニーズに対応するため、運営委託、病児保育委託を実施	89,500 (27) 89,500)
募金推進事業	教育・研究等のさらなる充実を図るためハード・ソフト両面にわたる環境整備を行う「未来への飛躍基金」への募金を推進	15,000 (27) 9,700)
診療材料等コスト削減対策事業	専門業者の保有する診療材料データベースを活用し、価格交渉を行うことにより、診療材料費を削減	2,200 (27) 2,900)
DPC最適化事業	DPC最適化に向けたコンサルティング業務委託	4,100 (27) 4,300)
レセプト院内審査支援システム事業	診療報酬請求の精度向上のため、レセプトチェックの機械化による業務の適正化、効率化	4,500 (27) 4,500)
経営支援システム運営事業	附属病院の経営課題を浮き彫りにし、コストと効果の最適化を支援する経営支援システムの運営	1,300 (27) 1,300)
長期借入金償還金	機器購入、施設整備等のため、県から借り入れた長期借入金の元利償還金	1,557,600 (27) 1,343,200)